

# 郷土しりょうかん

わたり ちょうりつきょうど しりょうかん  
 亶理町立郷土資料館

〒 989-2351 亶理郡亶理町字西郷 140

Tel : 0223-34-8701

E-mail : kyoudo@town.watari.miyagi.jp

## ～亶理を築いた人々～亶理伊達家を知ろう！(3)

亶理伊達家の歴代領主の特集3回目は、領主たちと仙台藩主との信頼関係についてです。

### 仙台藩主の信頼厚かった領主たち

仙台藩家臣の最高格である「一門」の第二席だった亶理伊達家の領主たちは、藩政を精力的に助けたことにより藩主から特に信頼されていたようです。彼らの間柄を示すエピソードを紹介しします。

#### ○伊達成実

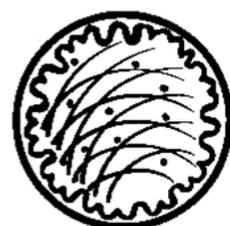
初代成実(1568-1646)は伊達政宗・忠宗親子を支えました。仙台藩が江戸城修築を命じられた際には政宗の代理として江戸へ出向き工事を監督しました。藩のために力を奮う成実を、忠宗は厚く信頼していたようで、正保2年(1645)病の成実に死した書状では「常々、養生の御心懸油断無く成され、何とぞ長命二御座候様二朝暮存じ候間〔常に油断無く養生を心掛けてください。どうか長生きしてほしいといつも願っています〕」と記していて、成実に対する思いの強さがうかがえます。



▲ 伊達成実木造彩色甲冑像

#### ○伊達村成

6代村成(1686-1726)は江戸において仙台藩の政務に尽力することが多く、正徳2年(1712)には日光東照宮修復事業の総奉行を務め幕府から褒賞を受けました。また、藩主吉村が狩猟のため鳥の海に訪れた際に手厚くもてなしたこともあり、享保8年(1723)には吉村から雪薄の家紋を賜りました。享保11年(1726)5月に村成が病にかかると、吉村は何度も見舞い、医者を派遣して療養にあたらせました。



▲ 雪薄の家紋

#### ○伊達宗賀

11代宗賀(1785-1852)は領主となって以降、幼少の9代藩主周宗を補佐しました。その功により文化9年(1812)500石の領地加増を受けたほか、10代藩主斉宗から「宗」の字を賜り実孝から改め宗賀と名乗るようになりました。翌年には斉宗から刀、茶器、掛軸などをもらい受け、文政4年(1821)に江戸初参勤の11代藩主斉義が宗賀の仙台屋敷に立ち寄り刀を授けるといふ出来事もありました。

このように、仙台藩主から亶理伊達家領主への贈り物や気遣いのエピソードは数多く確認できます。成実をはじめ歴代領主の挙げた功績は亶理領内にとどまらず、仙台藩にとっても非常に大きなものだったのですね。

次回は亶理伊達家にまつわる歴史資料をご紹介します。お楽しみに！

次号の「郷土しりょうかん」は、1月に発行する予定です。

郷土資料館、図書館、各公共施設の窓口にご覧いただけます。



# 宮城県指定文化財 伊達成実霊屋御開帳



巨理伊達家の菩提寺である大雄寺には歴代領主の墓所があり、その中心にあるのが初代領主伊達成実の眠る霊屋です。

霊屋は正保3年(1646)に成実が79歳で亡くなってから間もなく築かれ、中には軍扇を持つ甲冑姿の成実木像が納められました。霊屋は江戸時代初期を代表する霊屋建築として宮城県の指定文化財になっています。



▲ 伊達成実霊屋参拝の様子



▲ 解説会の様子

今年度も8月16日(水)に霊屋を開帳して成実木像を一般公開し、

219人が参拝されました。当日は奥州・仙台おもてなし集団伊達武将隊の伊達成実さんと、郷土資料館学芸員による現地解説会を行いました。成実の生涯や人物像、徳川家康との関係などについて成実さん自作の紙芝居を交えながら解説し、2回で合計97人にご参加いただきました。

## 次回御開帳

\*日 時 令和6年1月16日(火) 9:00~16:00

\*場 所 巨理領主伊達氏歴代墓所(大雄寺境内 巨理町字泉ヶ入87-2)



## 自然観察会を実施しました

『巨理町史 自然編』刊行記念事業として、8月20日(日)と9月10日(日)の2回にわたり自然観察会を実施しました。宮城県の自然環境保全地域に指定されている巨理町の海浜を散策し、動植物に触れて豊かな自然環境を知る機会としました。

1回目の「海岸林を探検しよう!」には、小学生4人が参加し、講師の東聖史さん(NPO 法人わたりグリーンベルトプロジェクト代表理事・『巨理町史自然編』執筆者)の解説を聞きながら砂浜やマツ林・ハンノキ林を探検し、植物のにおいを体感したり、植物や生き物の観察を行ったりしました。海岸林の自然環境に触れた参加者からは「楽しかった」「いろんな生き物を見られてよかった」との感想がありました。



▲ ハマヒルガオ観察の様子(8/20)



▲ マツ林説明の様子(9/10)

2回目の「巨理の自然を知ろう!」には、一般8人が参加し、海岸林の変化や防潮堤の移り変わりなどの解説を聞き巨理の自然について学びました。現地で植物や昆虫に触れた参加者からは「非常にいい経験になった」と感想があり、実りある観察会になりました。



# 写真展 第2部が始まります！

8月5日(土)から9月27日(水)まで、企画展示室で『巨理町史 自然編』刊行記念写真展「わたり らんまん—巨理町の自然—」の第1部を開催しました。この写真展は、自然編に掲載された写真を中心に展示して巨理の豊かな自然について知る機会としました。第1部は1452人にご覧いただき、「町内の自然を知ることができた」「巨理の自然の奥深さがよくわかった」などの声をいただきました。



▲ 写真展(第1部)観覧の様子

10月1日(日)からは、三つのコーナーの写真を入れ替え、11月26日(日)まで第2部を開催しています。第1部をご覧になった方もぜひまた足をお運びください。

## 郷土資料館町民講座「ものしり大学院」



今年度は『巨理町史 自然編』刊行を記念して、「ふるさと わたりの自然と人の営み」をテーマに講演会を開講します。みなさまのご参加をお待ちしています。なお、ものしり大学院は事前申し込み制としています。ご了承ください。

### テーマ「ふるさと わたりの自然と人の営み」

- 講師 平吹 喜彦 氏(東北学院大学 地域総合学部地域コミュニティ学科教授・『巨理町史自然編』執筆)
- 日時 11月3日(金・祝) 13:30~15:30(開場13:00~)
- 会場 図書館 視聴覚ホール(悠里館3階)
- 参加 郷土資料館窓口または電話(34-8701)で申し込み、定員80人(先着順)、無料

## 文化の日は



## オーブンミュージアム!

11月3日(金・祝)「文化の日」は、郷土資料館を特別開館し、さまざまなイベントを行います。

今回限定のチャレンジクイズをはじめ、伝統ある郷土芸能の演舞会など、普段は見ること・体験することができないものばかりです。

ぜひお越しください。

### 郷土芸能演舞会

- 時間 10:30~11:30
- 場所 エントランスホール(悠里館1階)
- 内容 町指定無形民俗文化財の「牛袋法印神楽」「巨理杵取り舞」を披露します。巨理の伝統的な民俗芸能をぜひご覧ください。このほか、「巨理獅子舞」の装束展示も行います。

### 体験コーナー

- 時間 9:00~16:30
- 場所 常設展示室
- 内容 開催中の写真展にあわせて動植物や昆虫の切り絵・ぬり絵、昔のおもちゃで遊べる体験コーナーがあります。この機会にいろいろな体験をしてみたいでしょうか。

### チャレンジクイズ

- 時間 9:00~16:30
- 場所 常設展示室・企画展示室
- 内容 常設展と写真展の展示内容を問題にした特別なチャレンジクイズを実施します。全問正解者には記念品をプレゼントしますので、みなさまのチャレンジをお待ちしています。

# 郷土資料館カレンダー・利用状況

## 10月

日	月	火	水	木	金	土
1 写真展 2部開始	2	3	4	5	6	7
8	9 スポーツ の日	10	11	12	13	14 上映会
15 上映会	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27 資料 整理日	28
29	30	31				

## 11月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3 文化の日 特別開館	4
5	6	7	8	9	10	11 上映会
12 上映会	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23 勤労感謝 の日	24 資料 整理日	25
26 写真展 2部終了	27	28	29	30		

## 12月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9 上映会
10 上映会	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22 資料 整理日	23
24	25	26	27	28 年末休館	29 (31日 まで)	30
31						

◆  は休館日

※上映会は「わたり復興の歩み」を終日上映

時間 9:00~16:30

場所 悠里館1階エントランスホール

### 常設展

R5.7.1~9.30

●開館日数…74日間

●観覧者数…2,413人(1日平均33人)

『巨理町史 自然編』刊行記念写真展

「わたり らんまん—巨理町の自然—」(第1部)

R5.8.5~9.27

●開館日数…43日間

●観覧者数…1,452人(1日平均34人)

## おわりに

今年8月が過ぎても暑い日が続き、「本当に秋は来るのか?」と思ったのは私だけではないと思います。それでも、日没の時間が早くなる、虫の鳴き声が変わる、新米が出る、と周囲に目を向けると着実に秋が訪れていることに気付かされました。まずは、巨理発祥の「はらこめし」を味わって、秋の到来を噛みしめたいと思います。

さて、郷土資料館では引き続き『巨理町史 自然編』の刊行記念事業を実施します。写真展(第2部)やものしり大学院など、巨理の自然を知る絶好の機会ですので、ぜひ足をお運びください。

郷土資料館利用案内

\*開館時間…9:00~16:30(入館は16:00まで) \*観覧料…無料 ※特別展等有料の場合あり